

県議の平均年齢62歳から53歳に。変わる奈良。

プロフィール

- 1994年3月23日生まれ
- 広陵西小/広陵中/畝傍高校/大阪大学法学部
- 2016年ITベンチャー企業(株)エクス入社
- 2019年First Step開業(主にIT事業を手掛ける)
- 2020年広陵町議会議員選挙初当選

29歳 最年少広陵町議会議員

ちぎた 慎也 しんや

↓SNSでも発信中! ↓

YouTubeでも発信中!

活動報告会

2023年5月27日(土) 19時~20時

チラシの内容・時事問題・最近の活動等をお話します。
アーカイブも残します!コメントお待ちしています!

広陵で働く!

広陵で働く若手を取り上げる企画。
取材依頼もお待ちしております!

視聴は →

視聴は →

ちぎたの一般質問

質問1 「やりたい」と「困った」を繋げる
協働の仕組みづくりについて

詳細は下部に記載

一般質問

「やりたい」と「困った」を繋げる 協働の仕組みづくりについて

ここ1年ほど、イベントを仕掛けたい!こんなことがやりたい!というお声をお寄せいた多くことが多くなりました。まちの課題に対して、(住民票が無くても広陵町に関わりがある方という広義の)町民の方発信で取り組んでいただけるというのは素晴らしいことだと思います。まさに、広陵町自治基本条例にも規定されている「協働のまちづくり」の実践だと感じております。町から情報発信の方法を工夫したり、公共空間のオープン化を進めばもっとこの流れが加速できるのではないか、と考えて質問いたしました。

ち) 広陵町が協働のまちづくり、に前向きだということが分かれば、何かをしかけたいときに広陵町に相談してもらえることが増えると思う。まずは、協働のまちづくりの事例をとりまとめて発信してはどうか

回) 現状、都度事例を発信しているがまとまってはいない。取りまとめの方法やSNSを活用した発信について検討する。

ち) さらに、町民主導の提案や取組を進めていこうと思うと、広陵町が抱えている課題の公開・共有であったりとか、そもそも町の状況をオー

プンにし、どんな課題があるかも含めてみなさんにも考えてもらうのがベストだと思う。大阪府枚方市では「枚方市民連携プラットフォーム」として仕組化されているが広陵町でもこうした仕組化ができるのか。

回) 課題解決や協働事業に向けたプラットフォーム構築を検討する。

質問全文



議会の情報も事後的な報告だけではなく、みなさんと一緒に考えるのがベストと思います。そこで、今回の議会準備から試験的に議会にかけられている議案(予算やまちのルールである条例の提案)について数々で検討しました(元敦賀市議前川さん考案の「みんなDE議会」という仕組みです)。

予 算 審 査

地域資源の高度化によるブランディング実践事業(1,750万円)

靴下の商品開発やブランディングなどを委託する。また、地域ブランドである「広陵くつした」としての認定基準を定め、「広陵くつした」専用のオンラインショップを整備する。

ICT支援員委託事業(245万円)

GIGAスクール構想で配布されたタブレット端末の活用支援などを行う。R5年度は教材作成を依頼する予定で、学校毎のHP作成支援も実施。

タブレットの活用が進んでいいですね。せっかく奈良県下でみんなが同じ端末をもっているわけですから、県下一斉の講演の受講なども期待したいところです。

畿央大学付属 広陵こども園開園

令和5年度開園の畿央大学付属広陵こども園を議会で内覧しました。当こども園は「公私連携幼保連携型認定こども園」ということで、町と畿央大学が「協定」を結ぶことで、民間ノウハウの活用が期待でき、町としての要望も反映いただけるという仕組みになっています。

園は子ども心をくすぐる仕掛けと木を活用した素敵な空間でした。西第二幼稚園の跡地にアトリエも作成予定ということで非常に楽しみです。

広陵町では西校区以外の地域でも幼稚園への入園児数が減っており、認定こども園への移行などを検討していく必要があります。特に東校区では喫緊の課題となっております。

インクルーシブ教育 推進事業(127万円)

放課後等デイサービスなどを実施している事業所から専門の作業療法士を学校現場に訪問していただき、先生方へ子どもへの指導・支援方法の助言・指導をいただくもの。

単に特別支援教育を切り離したり、反対に何の配慮もなく同じ教室で同じ授業を受けるのではなく、先生方に適切なスキルを身に着けていただき、特別な支援が必要な子どももそうでない子どもたちも共に学べるようにすることは重要だと思います。

先日、ドワンゴが運営するN高等学校(いわゆるN高)についてお話を聞く機会がありました。N高はオンライン高校だと思っておりましたが、本質は「オンラインでも通える高校」ということで、キャンパスもあり、登校したい学生は登校できる、というものでした。また、社会でも通用するようなスキルを身に着けられる要素がたくさんありました。大事なこと

上牧町フリースクール視察

上牧町に令和4年9月にできたフリースクール「Smile Farm かんまき」を視察してきました。Smile Farmかんまきは不登校等の子どもたちの学校への復帰だけでなく、自立するきっかけや将来の夢を見つかるきっかけをつかむ場所を目指して運営されています。

フリースクールに通う子どもたちはフリースクールに登校したことが学校に登校したことになります(ただし、学校長の同意が必要)。また、利用料は原則無料です。

運営は地域のNPOに委託されており、社会との接点をつくるための工夫が随所にありました。

は子どもたちに選択肢を与えることではないかと思いました。学校や通常教室を唯一の選択肢としない仕組作りが必要だと思います。

基幹システム標準化事業 (385万円)

基幹システム(住民情報関連システム)を国が策定した仕様に基づき標準化するにあたり、現状システムとの違いの確認や業務プロセスの見直しを実施する。

日本全国には約1,700の自治体がありそれが独自システムを使っているという状況です。したがってデータの連携できなかったり、システム改修に多額の費用がかかります。

そこで国が自治体基幹システムの標準化をしようと言葉をとっているわけですが、なかなか仕様が降りてこなかったり、関連システムとの整合性も課題になるようです。また、広陵町は近隣7町村と基幹システムの共同利用を行っているのでその調整も課題になります。



▲2階のアイランドキッチン

さらに、2階にはアイランドキッチンが設置されており、食を通じた交流を図ることができるようになっています。

広陵町には不登校等の子どもたちの居場所がありません。ハードの整備となると事業費が嵩みますが、既存施設の活用や他の施設の機能との複合化で実現できないか検討していきます。

ちぎたの読書のノート

私、ちぎた慎也がいいな～と思った本(やその他のコンテンツ)についてご紹介するコーナーです。

第三弾は、宮崎駿さんの

『風の谷のナウシカ』

映画も有名なナウシカですが、映画版は漫画版の2巻(全7巻)まで、ストーリーもシンプルになっています。科学技術と人間の付き合い方、人間の弱さと強さなど色々考えさせられます。絵もきれいで、映画版よりキャラが立っている印象です。そしてナウシカが最後に重大な決断をするのですが、それは非常に示唆深いものになっておりまして、ぜひみなさんの感想も教えていただきたいです。



チギトリーク

今年は関西若手議員の会の事務局長ということもあり、3月末から4月末にかけては統一地方選挙で本当にたくさんの方々の選挙に関わらせていただきました。各候補の、まちのために!という熱い想いに触れることで、自分の想いや活動を見直すきっかけになりました。2019年からはじまった広陵町議会議員としての任期も残すところ1年となったこの年に、色々な選挙に触れることができたのは本当に有難いことだと思います。情報発信やみなさまとの対話を続けてまいりますのでお気軽にご意見いただけたらと思います!

さて、4月14日(金)に広陵町議会の役員改選が行われ、この度副議長に選任いただきました。1期目、そして、29歳という若年での就任となります。職責を果たすことができるよう精進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。